

令和元年度第1回射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会

日時：9月4日（水）午後2時

場所：庁舎2階 202会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について 【資料1】

(2) 令和元年度住民サポーター講演会について 【資料2】

3 報告事項

(1) 地域共生社会の推進に向けた部局横断的連携体制について 【資料3】

(2) 買い物支援の取り組みについて 【資料4】

4 その他

(1) 今後のスケジュールについて 【資料5】

5 閉 会

射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会委員名簿

	団体名	役職	委員名
高齢者福祉に関し 識見を有する者	射水市社会福祉協議会	会長	門田 晋
	射水市老人クラブ連合会	会長	若林 忠雄
	富山福祉短期大学	社会福祉学科介護福祉専 攻専攻長・准教授	宮嶋 潔
地域における連携 及び支援体制の関 係者	射水市地域振興会連合会	常任理事	佐野 幸弘
	射水市民生委員児童委員協議会	会長	中川 由紀子
	公益社団法人射水市シルバー人材センター	業務・管理指導員	小井 雄三
	射水市ボランティア連絡協議会	副会長	義本 幸子
介護サービス提供 事業者	社会福祉法人 小杉福社会	特別養護老人ホーム エスポワールこすぎ 施設長	松浦 佳紀
	社会福祉法人 射水万葉会	在宅介護事業部 在宅介護ケア室課長	森田 洋子
民間企業関係者	射水商工会議所	事務局長	砂原 良重
	射水市商工会	事務局長	武部 賢昭
地域包括支援セン ターの代表者	大門・大島地域包括支援センター	センター長	田中 寿和

協議会 会長	宮嶋 潔
協議会 副会長	門田 晋

射水市地域支え合いネットワーク事業の進捗状況等について

1 概要

高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、地域の支え合い体制の整備、住民主体の多様なサービスの創出等を実施する団体の設立準備等を行う、射水市地域支え合いネットワーク事業を平成29年4月から本格実施している。

(1) 事業実施地域 (15地区で実施/27地区)

放生津、新湊、庄西、作道、堀岡、七美、塚原、三ヶ、戸破、金山、中太閤山、南太閤山、浅井、大島、下 (令和元年8月1日現在)

(2) 他地域の進捗状況

別紙一覧表【参考1】参照

(3) 第2層協議体

地域支え合いネットワーク事業の成果や課題を他地区と情報共有及び意見交換し、広域的な「つながり」づくりを目的に、第2層協議体（「みんなでつなげる地域支えあい会議」）を地域包括支援センター圏域ごとに立ち上げる。

開催年度	協議体				※網掛け実施済
	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	
平成29年度	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島
平成30年度	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島
令和元年度 (R1.8月まで)	新湊西	新湊東	小杉・下	小杉南	大門・大島

[参考] 地域包括支援センター圏域

新湊西 : 庄西、塚原、作道、新湊

新湊東 : 放生津、片口、堀岡、海老江、七美、本江

小杉・下 : 三ヶ、戸破、大江、下

小杉南 : 橋下条、金山、黒河、池多、太閤山、中太閤山、南太閤山

大門・大島 : 浅井、櫛田、水戸田、二口、大門、大島

2 講演会・研修会

(1) 第3層生活支援コーディネーター研修会

ア 日 時 令和元年7月24日(水) 午後1時30分から午後3時40分まで

イ 場 所 ミライクル館 研修室(クリーンピア射水場内)

- ウ 内 容 講義「食品衛生の基礎知識」 富山県高岡厚生センター射水支所 小島主任
情報交換会「活動の継続と広がりを目指して」【参考2参照】
- オ 参加者 37人

3 普及・啓発

- (1) 射水市地域支え合いネットワーク事業活動事例集の更新
平成29年度から作成している地域支え合いネットワーク事業活動事例集について、内容を更新したものを作成予定
- (2) 住民サポーター講演会、住民サポーター研修会の開催
- (3) 未実施地区を対象に市政出前講座を開催

4 今後について

住民サポーター講演会や地域振興会等への説明を通じ、令和元年度中に20地区において、事業の実施を目標とする。

年度	実施地区
平成28年度（モデル事業）	6地区
平成29年度	10地区
平成30年度	15地区
令和元年度	20地区
令和2年度	25地区
令和3年度	27地区



5 検討事項

地域支え合いネットワーク事業の推進について

地域支え合いネットワーク事業 未実施地区の状況

みんなでつなげる地域支えあい会議(第2層協議体)の開催状況と出席者の声			地域への働きかけ
新湊東包括 会議開催: 平成31年2月	片口	なかなか思うように進まない	平成30年4月 事業説明会 対象:ボランティア代表者会合 実施:市、包括 平成31年2月 事業説明会 対象:地区民児協定例会 実施:包括
	海老江	第3層SCは地域福祉に精通した人がいいのでは・・・	平成30年5月 事業説明会 対象:地区社会福祉協議会 実施:市、包括 平成30年4月・12月 事業の進め方について打ち合わせ 対象:振興会長、地区社協会長 実施:包括 平成31年2月 事業勉強会 対象:振興会長、地区社協会長、自治会長、民生委員 実施:市、包括 平成31年2月 市政出前講座「地域支えあい編」 対象:地区社協役員 実施:市、包括 令和元年8月 事業説明会 対象:振興会長、地区社協会長、自治会長、社協役員 実施:市、包括
	本江	以前、孤独死のケースがあり、「近隣住民の支えあい」や「つながり」が重要と再認識された。地域の中でも各種団体との連携や協力が不可欠である。	平成30年1月 事業説明会 対象:振興会長、地区社協会長、自治会長、福祉委員、民生委員 実施:市、包括
小杉下包括 会議開催: 平成30年3月・ 平成31年3月	大江	5部落でサロンをそれぞれ6~7人関わって実施している。月1回で目いっぱい状況。支え手の負担感が強い。もっと引きこもりの人を引き出すことが必要と思う。 地域性としてコミセンでの集いの場は考えにくく、公民館を拠点とすればよいと思うがどのように始めればいいのか・・・	介護予防きときと倶楽部:平成31年1月~3月大江地区全体 介護予防きときと倶楽部:平成31年6月~8月小杉白石地区
小杉南包括 会議開催: 平成30年3月・ 平成31年3月	黒河	町内会長が1年交代でありなかなか話がまとまらない。第3層SCが決まらないので開始できない。長寿会の会長に段取りをお願いし、振興会もバックアップする形で進めれば・・・ 令和元年度中には立ち上げたい。	平成30年2月 講座「人とつながり、地域とつながる」 対象:おたっしやクラブ合同研修会 実施:包括 平成31年2月 おたっしやクラブ合同研修会「認知症サポーター養成講座」 実施:包括
	池多	平成29年度に100歳体操を開始、平成30年度にサロンを立ち上げたところである。 次に支えあい事業といきたいが、まだまだこれからというところ・・・	平成29年10月 敬老会にて100歳体操と集いの場の大切さを寸劇を通して発信 実施:包括 平成30年11月 池多ふれあいサロン「認知症サポーター養成講座」 実施:包括 平成31年2月 池多ふれあいサロンにて爆笑劇団「運動機能向上編」 実施:包括
	橋下条	地域にはもともといろいろな活動がある。整理して計画すれば進めていけるようにも思うが その中で課題会議をし、意見をみんなで集めて活動するということが・・・ 橋下条は7町でやろうとしたら、若い世帯の町内もあり町内会間の格差(温度差)が大きい。	平成30年7月 おたっしやクラブ交流会にて爆笑劇団「外出の楽しみ編」 実施:包括 平成30年11月 橋下条地区社協より100歳体操見学・取り組み説明 実施:包括 平成31年4月 橋下条長寿会総会にて爆笑劇団「認知症編」 実施:包括 令和元年9月より、橋下条地区の各町内単位で「きときと倶楽部」実施予定。 実施:包括
	太閤山	これまで振興会と地区社協がうまく結合していなかったが平成30年度から地区社協会長が振興会副会長となった。100歳体操は地区社協が運営し、定着してきている。 平成31年度開始に向けて動きをつけてきたが、第3層SCの配置が問題となっている。	平成30年3月 ケアネット研修会「ロールプレイから学ぶ ~となり近所の支え合い~」 実施:包括 平成30年9月~11月 県営住宅の方を対象とした「きときと倶楽部」全5回コース 実施:包括 平成31年3月 事業勉強会 対象:地区社会福祉協議会 実施:市
大門・大島包括 会議開催: 令和元年6月	櫛田	地域の半分が山間部にあり、過疎化が進む。事業の勉強会、検討会は開いている。 事業実施の際は長く継続できることが大切と思っている。 14の自治会単位の実施を考えている。通院、買い物が必要な課題である。	平成30年2月 事業紹介 対象:地区社会福祉協議会 実施:包括 平成30年6月 事業検討会 対象:地域振興会役員、自治会長、地区社協 実施:市、包括 平成30年7月 事業意見交換会 対象:地域振興会役員 実施:市、包括 平成30年11月 介護予防事業(きときと倶楽部案内)実施打合せ 対象:地区社会福祉協議会役員 実施:包括
	水戸田	水戸田は7自治会のうち5箇所で100歳体操グループが立ち上がっており、31年度からコミセンでも始まった。コミセンでのサークル活動との融合や統合をどうするかが課題と考えている。 またコミセンまで来れない人をどう巻き込むかが課題である。	平成30年8月 事業紹介 対象:振興会長、地区社協会長、事務局長、自治会長 実施:市、包括 平成30年12月 事業の進め方について意見交換 対象:民生委員 実施:包括 平成31年2月 事業勉強会 対象:地区社会福祉協議会会長、自治会長、民生委員 実施:包括、社協
	二口	地域振興会、長寿会、コミセンでの講座等各種多くの活動を展開している。 第3層SCの人材がない。	平成29年5月 事業説明 対象:地区社会福祉協議会(理事・評議員) 実施:市、包括 平成29年6月 事業意見交換会 対象:地区地域福祉推進員 実施:包括 平成30年3月 事業勉強会 対象:地区地域福祉推進員 実施:包括 平成30年10月 介護予防事業(きときと倶楽部案内)意見交換 対象:地域社会福祉協議会役員 実施:包括
	大門	支えあい事業は今年度の重要課題としており、令和2年4月からのスタートを考えている。 4会場での100歳体操の参加者が倍増しており、これをベースに事業を進めていきたい。 地域振興会、地区社協、民生委員の3本柱で考えていきたい。	平成30年5月 事業紹介 対象:地域振興会役員 実施:市、包括 平成30年11月 事業説明 対象:地域振興会役員 実施:市、包括 平成31年1月 事業勉強会 対象:地域振興会役員、自治会長、民生委員 実施:市、包括

地域支え合いネットワーク事業 実施地区一覧

※地域包括支援センター圏域毎 行政区順

2019年4月

担当包括	地域	地区人口、高齢化率、全世帯数等	開始年度	第3層SC	地域での会議 ※第3層SC 他メンバー	集いの場タイプ・箇所数	集いの場以外の主な活動や動き等
新 湊 西 包 括	庄西	925人、43.2%、383世帯 3自治会 市街地	H28	1人 民生・児童委員	第3層協議体会議(年2~3回)・全体会 振興会長(地区社協会長)、自治会長、民生・児童委員、コミセン職員	コミセン+自治会型 2箇所	生活支援はケアネットでカバー、放課後児童クとコラボ 脳トレサロン、喫茶「しょうせい」(給茶機設置)、軽食ラン チの試行
	新湊	6573人、41.5%、2766世帯 市街地	H30	1人 地区社協会長	支え合いネットつながらんまいけ(運営委員・推進員) 自治会長、老人クラブ、民生児童委員、コミセンター長、ボランティア		6ブロックにサブコーディネーターを置き活動の展開を 模索
	塚原	3124人、33.0%、1108世帯 7自治会 農村部	H30	1人 振興会長	支え合い企画委員会(月2回)・・・委員5人 地区社協会長(センター長)、民生委員、元学校管理栄養士、 老人クラブ(サロン、100歳体操代表者)		サロン、100歳グループ中心ではなく前期高齢者を中心 とした活動を模索(懐かしの映画の集い、カラオケサロン、 塩分調査、健康だより発行など)
	作道	5708人、26.4%、2058世帯 13自治会 農村部	H30	3人 地区社協会長 民生・児童委員、コミセン職員	声かけていかんまいけ推進会議(委員会、全体会) 振興会長、自治会長、老人クラブ、民生児童委員、コミセンター長 100歳体操代表者会議(年2~3回)	自治会型 12箇所	研修会企画により推進員の意識を高めるため講演会を 開催(年3回程度)、地区推進員レク交流会
新 湊 東 包 括	放生津	4410人、42.0%、1999世帯 23自治会 市街地	H30	1人 コミセン職員	第3層協議体会議 振興会長、地区社協会長、自治会長、民生児童委員	コミセン+自治会型 6箇所	課題会議や事業に介護事業所の参画 コミセンでの集いの場で介護事業所のミニ講座、食改と 共催によるシニアカフェ等の実施
	堀岡	2603人、33.0%、1004世帯 13自治会 準工業地帯	H29	10人 自治会区集いの場代表者	地域支え合いネットワーク事業連絡会議(月1回⇒年4~5回) 振興会長、地区社協会長、集いの場代表、コミセン職員	自治会型 10箇所	幾つかの自治会で麻雀の集まり(男性)ができていて 小学5年生と徘徊声かけ模擬訓練実施
	七美	1400人、37.1%、534世帯 8自治会 農村部	H28	3人 地区社協会長、地域福祉推進員	いこいの家企画会議(スタッフ会議、月1回) スタッフ16名	コミセン型 住民型デイサロン「いこいの家」 (1日開設)	共生型への志向(支援の必要な子供の受け入れ) 「いこいの家」への送迎サービス実施 生活支援はケアネットでカバー
小 杉 ・ 下 包 括	三ヶ	4902人、27.7%、2039世帯 22自治会 市街地	H28	4人 地区社協会長、民生・児童委員 ヘルスポランテア	第3層SC会議(随時) 自治会長、コミセンター長・老人クラブ	コミセン型(三ヶふれあい館) すこやかさんが	一人暮らし高齢者等、要支援者宅に緊急連絡先マグネット の配布を計画
	戸破	9116人、22.7%、3501世帯 29自治会 市街地	H29	4人 民生・児童委員、コミセン職員	第3層協議体会議(随時) 振興会長、地区社協会長、老人クラブ会長、コミセンター長 にこにこカフェスタッフミーティング(隔月1回)	コミセン型 ひばりにこにこカフェ	戸破くらし応援隊(有償ボランティア、チケット制)の試行 コミセンに交流・談話スペース整備
	下	1865人、30.9%、646世帯 6自治会 農村部	H28	2人 民生・児童委員	第3層SC会議(随時) 振興会事務局(コミセンター長)、コミセン職員 集いの場代表者会議(年1回) 事業報告会(年1回)	自治会型 6箇所 全体交流会(年1~2回)	コミバス買い物ツアー試行 小学校祭で事業紹介(1教室を借り)
小 杉 南 包 括	金山	1484人、36.4%、523世帯 6自治会 山間部	H29	4人 自治会区集いの場代表者	ふれあかなやま会議(1~2か月に1回) 振興会事務局、ボランティアサポーター	自治会型 4箇所 全体交流会(年1回⇒2回)	全体交流会に小学生との交流(室内ミニ運動会)を企画
	中太閤山	3362人、33.3%、1338世帯 14自治会 団地	H30	4人 ヘルスポランテア	中太閤山地区コーディネーター会議(月1回) 振興会長、地区社協(会長、民生児童委員、ケアネット担当等)、長寿会	新たな拠点型 (バスコ、集会所等) 2箇所	歌声喫茶の開催
	南太閤山	3327人、35.5%、1314世帯 14町内会 団地	H28	2人 地区社協副会長 コミセン職員	第3層SC会議(年2~3回) 振興会長(地区社協会長)、ボランティア代表 ♡みなみボランティアスタッフ意見交換会(年1回)	コミセン型 住民型デイサロン 「支えあいネット♡みなみ」	参加者が特技を生かし、主体的に「♡みなみ」の運営に 参加 生涯学習グループ、保育園、小中学生との交流
大 門 ・ 大 島 包 括	浅井	3044人、24.6%、1003世帯 10自治会 農村部	H29	4人 コミセンター長、地区社協会長 コミセン職員	浅井支えあい協議会(年1~2回) 振興会長、自治会長、ボランティア、長寿会、民生委員 第3層SC会議(随時) ふれあい館ちょこサポ交流会(年1~2回)	コミセン型 浅井ふれあい館	週1回(午後)、浅井ふれあい館としてコミセンを全館解放 ちょこサポはヘルス、食改が中心
	大島	11173人、26.3%、3944世帯 23自治会 市街地	H28	5人 自治会区集いの場代表者	第3層SC会議(月1~2回)	自治会型 5箇所 合同集いの場(年1回)	地域ふれあいサロンを核に自治会ごとに活動を展開

情報交換会 テーマ 「活動の継続と広がりを目指して」

	継続の工夫	広がり の工夫	その他 (課題など)
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興会長がしっかり関わることが大切 ・自治会の協力、理解が得られると良い ・(振興会長や自治会長らが)スタッフの頑張りを見てくれることが大切 ・スタッフの皆さんが仲良くやっていけるよう、気配り、目配りすることが大切 ・男性参加者が少なくても、居場所があればよし(元気であればよし)と考える。 ・各団体のスタッフよりも地域のボランティアで担ったほうが継続できる。 ・ひとごとではなく、自分のことと考える取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興会長がしっかり関わることが大切 ・自治会の協力、理解が得られると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・できんと思ったらアカン!
B	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターミーティングにて情報共有をしている。 ・トラブルがないよう、参加者やボランティア(世話人)にも配慮している。 ・経費等困ったときは自治会にも相談していく。 ・既存のサロンの継続を図る。 ・行事やイベント(誕生会等)を工夫している。(喜んでいただけるように。) ・100歳体操から横のつながりを作る。(地域のつながりの強化を図る。) ・他地域での活動を見学し、良い所を取り入れ、参加しやすいよう工夫している。 ・参加者の方の得意なこと(生け花等)を生かし、参加意欲につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の広報で活動を紹介している。 ・健康だよりを作成し、行事の案内をしている。 ・集いの場で相談会を実施している。(月1回) ・参加回数の減った方には声掛け、訪問して様子を窺う。 ・男性の参加者を増やすために… →声掛けをする方や世話人が男性だと参加しやすい。 →自治会にも働きかけを。 →男性が興味を持ちそうな活動内容に。 ・近い地域をブロック別に分けている。 →地域(ブロック毎)に理解を深めている。 	
C	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代等は利用料でまかなっている。 ・活動費が赤字にならないように工夫している。 →振興会の予算から補助がある地域も。 →予算化している地域も。 ・ボランティアスタッフに手当てがあればよい。 ・スタッフ(3層SCやボランティア)は、100歳体操の時間帯を主に関わっている。 ・スタッフに対し、振興会からお礼がある。 ・企画等はボランティアが行い、普段の活動は参加者も加わって、みんなでやっている。 		
D	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を飽きさせないことが大切。 →来て楽しかったという想いを持ってもらえるように、笑顔で帰ってもらえるように。 →毎回ゲームを変える等の工夫をしている。内容もいくつか用意して選択できるようにしている。 ・振興会の中核としての活動→振興会から各自治会へ ・安全安心に活動するために、保険へ加入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけでなく、子どもを巻き込む。(食事会やゲームを通して) ・スタッフに男性を取り込む。 →3層SCも男性に担ってもらう。 →自治会の関わり →有資格者(栄養士等)に、健康のアドバイスをもらう。 ・モチベーションアップのために… →支え合い活動の発表の場をつくる。 →地区ごとの頑張りを写真等で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口規模など地区によってやり方が違う。 ・中核として一カ所に集まることの難しさ。(送迎など)
E	<ul style="list-style-type: none"> ・片付けは全員で行う。 ・無理のない範囲で活動する。 ・スタッフも楽しんで参加する。 ・お楽しみ行事、イベントを設ける。(夏祭り、クリスマス会、お誕生日会等) ・地域に合った活動を実施する。 ・世話役の方が参加できる日を予め決めておく。(当番制) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロコミ・声掛け ・運動を取り入れる。(男性参加者増加を狙って。) ・居宅介護支援事業所、食生活改善委員、ヘルスポランティア等周りの力を活用する。 ・三世交代交流会の開催(ゲストとして子ども世代を巻き込む。) ・お知らせ、広報誌を作成する。 	
F	<ul style="list-style-type: none"> ・100歳体操は形どおり実施する。 ・参加者主体のやりたいことを実施する。 ・開催時間中はいつでも自由に参加できる。 ・楽しい雰囲気。 ・輪を大切にしたい行事(円になって、つながる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性参加を増やすために、スポーツ(吹き矢、卓球バレー等)を体験してもらう。 ・楽しい雰囲気。 ・集いの場が遠い→2ヶ所目を設けた。 ・湯どころ体操(パスコ、大門コミュニティセンター)で習った脳トレを実施 →湯どころ体操は他の地区の人との交流もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場への男性の参加が少ない。 ・つながりが少ない。 ・100歳体操をやっている人は元気!→形どおり実施する。

令和元年度 住民サポーター講演会

「みんなで学ぼう！地域支え合い講演会」について

1 趣旨

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向けた地域での支え合い体制を推進するため、住民サポーター講演会を開催してきた。

地域での支え合い体制構築の必要性について普及啓発するとともに、地域活動に参画する新たな人材を発掘するための実施方法等について検討する。

2 今年度講演会

(1) 日 時 令和元年11月18日（月）および19日（火）

※2日間の開催とし、講演内容は同じとする。

(2) 場 所 射水市役所 会議室 【令和元年11月18日（月）】

新湊交流会館 ホール【令和元年11月19日（火）】

(3) 講 師

ご近所クリエイション ご近所福祉クリエイター 酒井 保（さかい たもつ）氏

(4) 講師プロフィール

1961年 広島生まれ。知的障がい者施設、市町社会福祉協議会、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長を経て、2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設（主宰）。ご近所福祉クリエイターという肩書きのもと、広島と仙台を拠点として、全国各地を講演行脚中。岩手県陸前高田市地域包括ケアコーディネーター。平成28年度より、宮城県塩釜市、福島県楡葉町における地域支え合い活動の立ち上げ等にかかる諸事業に参画。イラストレーター。

主な著書：「見守り活動」から「見守られ活動」へ〔CLC活動〕

生活支援コーディネーターと協議体（共同執筆）〔CLC活動〕

「月刊・地域支え合い情報」に『平成向こう三軒両隣事情』を連載中

(5) 演題（講演テーマ）

『地域での支え合いの意義・重要性（仮）』

3 周知方法

(1) 各団体代表者等への郵送案内

案内先：地域振興会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操グループ

(2) 広報いみずにて掲載

(3) いみずケーブルテレビ「福祉の時間」にて放映

(4) チラシ

※チラシはコミュニティセンター及び庁舎等に設置予定。

4 検討事項

(1) 周知方法、周知先

(2) 受講者を担い手に繋げる方法

5 参考

これまでの講演会の内容・周知方法

開催年度	講演会内容	案内先
平成28年度	講演：「支え合える地域をめざして」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 清水 肇子 氏 ※講演他、助け合い体験ゲーム、グループワーク実施	地域振興会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、地域ふれあいサロン、まちづくり大学卒業生
平成29年度 ①	講座：「支え合いの仕組みづくりについて」 講師：実家の茶の間 紫竹 代表 河田 桂子 氏	地域振興会、地区社会福祉協議会
平成29年度 ②	講演：「助け合い・支え合いの意義について」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 高橋 望 氏 ※講演他、地域支え合いネットワークモデル事業活動発表実施	
平成30年度	講演：「地域で暮らし続けるために」 講師：富山福祉短期大学 学長 炭谷 靖子 氏 ※講演他、個人ワーク「地域で暮らし続けるために自分ができること、やりたいこと」実施	老人クラブ、地域ふれあいサロン、きららか射水100歳体操グループ

※これまでは各団体代表者等への郵送案内のみ

地域共生社会の推進に向けた部局内横断的連携体制について

1 概要

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指す上で、地域における複合的で多様なニーズに的確に対応するためには、これまでの縦割りの支援制度では困難であることが想定される。

このような支援ニーズに的確に対応していくため、まずは、福祉保健部局内で地域共生社会等連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を実施し、各課で所管する共生社会推進にかかる事業とその実施課題を共有し、部局内横断的な連携体制の確立と地域共生社会に関する共通認識を図る。

2 連絡会議の構成

連絡会議は、福祉保健部各課（地域福祉課、社会福祉課、介護保険課、保険年金課、子育て支援課、保健センター）の課長補佐、係長、主査職により構成

3 連絡会議の主な協議事項

- 【第1回】平成30年12月26日（連絡会議の主旨説明）
- 【第2回】平成31年1月18日（共生社会推進に関する各課所管事業の洗い出しについて）
- 【第3回】平成31年2月15日（各課所管の事業の説明）
- 【第4回】平成31年3月15日（連携可能な事業の洗い出しについて）
- 【第5回】平成31年4月19日（特定健診受診率向上を図る部局内横断的な連携事業について）
- 【第6回】令和元年5月17日（地域包括ケア推進に係る保険者努力支援制度について）
- 【第7回】令和元年6月28日（特定健診率向上を図る部局内横断的な連携事業の具体的な実施方法について）
- 【第8回】令和元年7月19日（高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について）
- 【第9回】令和元年8月23日（高齢者のフレイル対策事業について）

4 具体的な取組み

第1弾連携事業

地域支え合いネットワーク事業実施地域において特定健診受診率向上を図る取組みを実施

- (1) 日時 令和元年8月6日(火)14:30～15:30
- (2) 場所 戸破コミュニティセンター
- (3) 内容 健康ミニ講座及び福祉相談会
- (4) 参加者 戸破地域支え合い事業（にこにこカフェ）参加者32名（男:9名、女29名）
保険年金課3名、保健センター4名、介護保険課2名、地域福祉課1名

5 今後について

高齢、障害、児童等の対象者ごとに充実させてきた福祉サービスについて、複合化するニーズへの対応を強化するために、福祉保健部局内連携の更なる強化を図り、情報等を共有する。

具体的な今後の取組みとしては、地域特性に基づいた健康指導や介護予防を、連携事業として実施していく。

買い物支援の取り組みについて

1 課題

地域課題会議において、「加齢により自家用車の運転ができなくなったときに、買い物に不安がある」という意見が多く出ている。

2 買い物支援の現状

(1) 下地区 コミュニティバスを利用した買い物体験ツアー 【参考3参照】

ア 内容

地域振興会の要望により、平成31年4月から、コミュニティバス 新湊・呉羽線において、大阪屋ショップ呉羽店及びアルビス呉羽本郷店に降車できるようルートが改正された。そこで、地区の高齢者がコミュニティバスを活用して買い物ができるようになることを目的に、買い物体験ツアーを実施した。

イ 日時

令和元年6月18日（火）午前9時30分から午前11時まで

ウ 場所

大阪屋ショップ呉羽店、アルビス呉羽本郷店

エ 参加人数

21人

(2) 移動販売車「とくし丸」の参入 【参考4参照】

ア 内容

令和元年7月から、各地域で協議・判断の上、移動販売車「とくし丸」が参入している。参入頻度は週1、2回。拠点から個人宅にも広まりつつある。

イ 参入地域

地域	地域振興会	場所（行政区等）
新湊	作道	鏡宮、殿村、野村、久々湊、津幡江
	片口	片口高場
	堀岡	草岡町
	七美	七美コミュニティセンター（※いこいの家開催時）
小杉	三ヶ	白銀町
	戸破	末永町、手崎
	金山	野手、浄土寺、金山、上野
	池多	山本新、土代
大門	櫛田	本村、荒町、小泉、竹原、松原、大久保、布目沢
下	下	下村デイサービスセンター

(3) 市による中小企業・小規模企業支援策

ア 内容

商店街団体や商工団体、民間事業者、NPO 法人等が買い物困難地域(近隣の小売店舗の閉店等により日常生活に不便が生じている地域)において、移動販売等の買い物支援サービスを行う事業に要する経費を、県と連携して支援している。

イ 補助率

1 / 3 補助限度額 500 千円

※「富山県買い物サービス支援事業」(補助率 1 / 3 補助限度額 500 千円)の採用者を対象とし、県・市合わせて 2 / 3 の補助を行うもの。



コミュニティバスを利用して 買い物体験をしましょう!

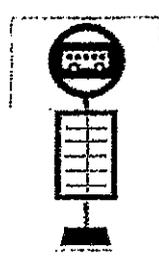


目的：平成31年4月1日よりコミュニティバスで大阪屋ショップ呉羽店、アルビス呉羽本郷店に降車できるようになりました。コミュニティバスを利用して買い物体験しましょう。

日程：令和元年6月18日（火）各バス停に5分前に集合～各バス停到着後、解散

参加費：300円（1日乗車券代）、☆お土産付き☆

対象者：下地区住民

出発バス時刻：バス停名	集合時間	(バス発車時間)
下地区センター前	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 各バス停に 5分前に集合  </div>	(9時50分発)
加茂中部		(9時51分発)
加茂コミュニティ施設前		(9時51分発)
加茂中部西		(9時52分発)
倉垣小杉口		(9時52分発)
白石神社前		(9時52分発)
白石口		(9時53分発)
大阪屋ショップ呉羽店		10時01分着
アルビス呉羽本郷店	10時05分着	

☆買い物時間約30分☆

 ※買い物時間が30分と短い為、事前に買い物する内容を決めておくことをお勧めします。

帰りのバス時刻：アルビス呉羽本郷店 10時38分発（時間厳守）

大阪屋ショップ呉羽店 10時42分発（時間厳守）



----- 切り取り線 -----

参加申込書

名前： _____ 連絡先： 電話 _____

買い物先：大阪屋ショップ呉羽店 ・ アルビス呉羽本郷店 （どちらかに○をお願いします）

乗車・降車バス停名： _____ （記入をお願いします）

※参加を希望される方は、下村コミュニティセンター又は、きららか射水100歳体操代表者、サロン代表者に令和元年6月12日（水）までに提出ください。

射水市の下地区まじりの地域振興会は18日、富山市呉羽地区のスーパーへ行き来できる市のコミュニティバス路線を使った買い物体験ツアーを開いた。下地区の高齢者が対象で、買い物弱者の支援につなげる。

(新築支局長・牧田恵利奈)

買い物弱者バス使おう

路線周知へ体験ツアー

下地区内には小規模な商店は、地区まじりの地域振興会に多い。スーパーがなく、下地区の高齢者が多くいる。買い物に不便を感じている高齢者が多いという。

同振興会の要請を受け、4月から下地区を通る新築、呉羽駅線へ、最寄り呉羽地区のスーパーへ行き来するコミュニティバスを運行することになった。住民に周知しようと、市の地域支え合いネットワーク事業の一環として初めて企画した。



スーパーで買った品物を持ってコミュニティバスに乗り込む参加者

ツアーには約20人が参加した。2店のうち大阪屋ショップ呉羽店を利用した宮崎昭子さん(78)は「普段は車に乗って来るが、だんだん運転が不安になってきた。バスでスーパーに来られるのはいいことで、時間が合えばまた使いたい」と話した。

高齢者による交通事故が相次ぐ中、運転免許の返納を考えている三村幸子さん(78)は「バスの本数が今より増えるといい」と話した。

同振興会の落合祥一事務局長は「買い物がいらい高齢者のために路線を維持し、運転に不安を感じている人の免許返納につながればいい」と話している。

射水・下振興会ツアー 交通弱者を支援

バスで買い物に行こう

高齢者「免許なくても安心」



コミュニティバスに乗り込む参加者

返納きっかけにも

射水市の下地区まじりの地域振興会は18日、地元の新築やスーパー、コミュニティバスを利用した買い物体験ツアーを開いた。下地区の高齢者が対象で、買い物に不便を感じている高齢者が多いという。

同振興会の要請を受け、4月から下地区を通る新築、呉羽駅線へ、最寄り呉羽地区のスーパーへ行き来するコミュニティバスを運行することになった。住民に周知しようと、市の地域支え合いネットワーク事業の一環として初めて企画した。

ツアーには約20人が参加した。2店のうち大阪屋ショップ呉羽店を利用した宮崎昭子さん(78)は「普段は車に乗って来るが、だんだん運転が不安になってきた。バスでスーパーに来られるのはいいことで、時間が合えばまた使いたい」と話した。

高齢者による交通事故が相次ぐ中、運転免許の返納を考えている三村幸子さん(78)は「バスの本数が今より増えるといい」と話した。

同振興会の落合祥一事務局長は「買い物がいらい高齢者のために路線を維持し、運転に不安を感じている人の免許返納につながればいい」と話している。

「免許なくても安心」

高齢者は運転免許を持っていないが、買い物に行きたくても行けないという声が多い。バスで買い物に行くと、免許なくても安心だ。

「輪を広げたい」

地元の要請で、自らのバスのルートが変更され、食品スーパーを添田まで伸ばすことになった。同振興会がツアーを企画した。振興会の落合祥一事務局長は「バスに乗るのには心配いりませんが、何人か乗ってほしい。ぜひ使ってください」と話した。

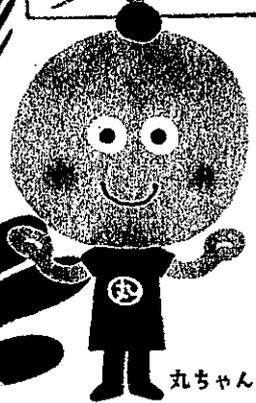
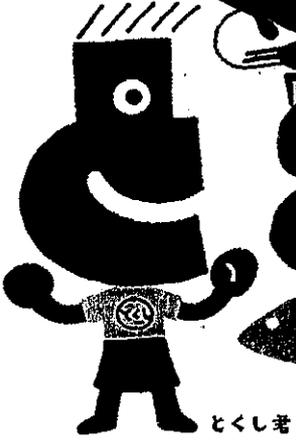
↑ R1. 6. 19 (水)
北日本新聞

↑ R1. 6. 19 (水)
富山新聞

はじめまして!

参考 4

いつもの
おばあちゃん
今日も
来てるかな?

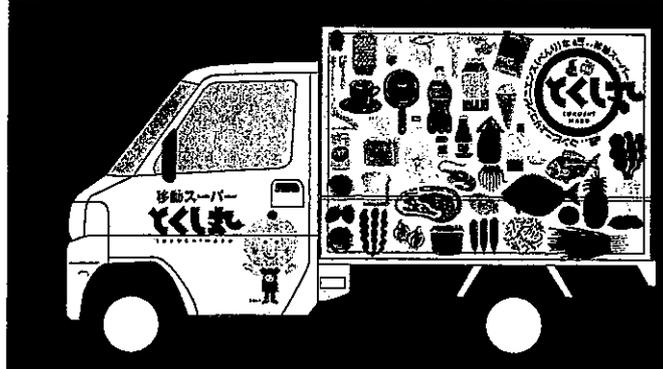


笑顔と元氣も
届けちゃおう!
みんな、
よっといでー!

マスコットキャラクター
とくし君と丸ちゃんも
ヨロシクね!

お刺身、寿司、惣菜、お肉、野菜・果物、パン・お菓子、日用品…軽トラにたっぷり
300品目!見て買って、注文もできる…とっても便利な移動スーパーです!

お家の前で、見て買えます



このエリアは、
毎週
停車予定!!

←この車が移動スーパー『とくし丸』



訪問先募集中!

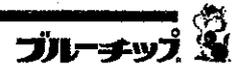
移動スーパー『とくし丸』があなたの家まで訪問します。
個人宅、高齢者施設、近所の広場など。
軽トラなので小さなスペースで停められます。

●お問い合わせは、お気軽にお電話で…

ヴァローレ砺波店 〒939-1371 富山県砺波市栄町3-4
とくし丸係 **0763-33-3000**



ブルーチップは、「とくし丸」を全国に広める活動を行っています。



移動スーパー [とくし丸] Q&A



とくし丸は篤志丸
篤志丸のあついで。
特に、社会事業や
公共の福祉などに
熱心に協力すること。
また、その心や、
そのさま。

皆さんの、素朴な?ギモンに答えます。

Q1 どこで買えるの?

A1 あなたの、自宅の前でお買い物ができます。「とくし丸」は、お客さん1軒1軒を回って販売をしています。「うちにも来て欲しい」と思ったら、いつでも気軽にお電話ください。

*但し、販売エリアに限ります。対象エリアは、随時拡大していますから、お問合せください。

Q2 いつ買えるの?

A2 基本的には、毎週2回、決まったコースを巡回しています。月木、火金、水土のいずれかの曜日に訪問します。時間は、何度かおじゃまする内に自然と決まってくるようになります。3日に1度の訪問になりますから、買いだめせずに、少しずつ新鮮な買物をお楽しみ下さい。

Q3 何が買えるの?

A3 しっかりした冷蔵庫が乗っているのので、新鮮な、刺身、寿司、総菜、お肉、野菜、果物から、パン、お菓子、日用品(かさばるもの、トイレットペーパーやティッシュまで!)と、店頭と並んでいる商品が購入できます。

Q4 何でも乗せてるの?

A4 「とくし丸」は軽トラックを利用していますから、さすがに「何でも」と言うわけにはいきません。でも、希望の商品が乗ってなかった時は、遠慮なく注文して下さい。3日後にまた訪問しますので、その時にお届けします。「とくし丸」は、便利な「御用聞き」としても使えます。

*但し、提携スーパーの取扱商品に限らせていただきます。

Q5 値段は、どーなの?

A5 スーパーの店頭価格と同じ値段のものもありますが、基本的には「+10円ルール」を採用しています。これは、商品1点につきプラス10円させていただくというものです。でも、ガソリン代を払って車で買物に行ったり、バスやタクシー利用の費用を考えると、決して「高くはない」はずです。

Q6 食料品以外でも困ってることがあるんだけど?

A6 「とくし丸」は、お客さんの「良き相談相手」でありたいと考えています。水道の水が漏れる、クーラーの効きが良くない、ドアの立て付けが悪い、畳やジュウタンを変えたい、台所や風呂場を改装したい。そんな悩みがあれば、お気軽に「とくし丸」の担当者にご相談してみてください。可能な限り、お手伝いさせていただきます。

「とくし丸」は、ヴァローレの商品をお届けします。



今後のスケジュールについて

実施時期	スケジュール
令和元年 9月4日	○令和元年度第1回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会
11月 18日19日	○住民サポーター講演会 「みんなで学ぼう！地域支え合い講演会」
令和2年 1月～2月	○住民サポーター研修会 ○介護予防・生活支援サービス従事者養成研修 ・研修修了者と事業所のマッチング
2月～3月	○令和元年度第2回 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会